

基本的には、コード、リズム、調性などを無視して、自由にインプロビゼーションを行う。
しかし、お互いの音をその場で判断しながら、ある程度統制の取れた、いくらか音楽的なものにした
たい。

そこで、以下に記すような、いくつかの緩いルールを課した上での演奏を試してみたい。

ループで、

- ・ 自然音、リズムあり、途中で展開あり？
- ・ ループの作り方次第だが、あまり音楽的でないループに、各自自由に音楽的アプローチを試みる

一つのロングトーンから始まり同じ一つのロングトーンで終わる

- ・ 一つの音のロングトーンから始まり、少しずつ複雑化、
- ・ クレバーながらもマックスに気持ち悪い感じまで展開し、最後はまた戻る
- ・ はじめは全員で一つの音を出す
- ・ そこから次第に、各自、全体の音を参照しながら自由な音へと移動、複雑化
- ・ 基本は単音で単純なロングトーンで構成、和音はなるべく3人の偶然で生まれるものに期待する
- ・ リズムを出す者がいても可、それにのるのも無視するのも自由
- ・ 途中、合図で、各自一音だけの任意のロングトーンを出す。それが和音になるもよし、気持ち悪い響きになるのもよし。そこが一応曲のクライマックスとなる。

ピタゴラス音律的な動きの制約・・・？ イマイチかも・・・です

- ・ CからG、GからD、DからA.....と一番良く響く音を探して12音を決めたピタゴラスの音階。
当然これは12平均律にも純正律にもなりません、この5度の動きだけに制約した演奏は、どう
だろうか？
- ・ これも単音のロングトーンを基本とする。
- ・ 各自が出せる音は、今出している音の5度の音と、今出している音の前に出していた音だけ、また
は、今出している音と同じ音だけに限定する（しかし、オクターブは問わずとする）。各自が5度
の縛りの中で好きに音を出して移動して行く
- ・ ピタゴラス音律の理屈から言えば、12音のどの音に行く事も可能だけれど、辿り着くまでは必ず
5度の法則を守らなければならない。
- ・ 3人が同じくらいのスピードで展開して行けば、美しく響くまま全体が進行すると思われるが、逆
に不協和音地獄になるのも、面白いかも？
- ・ これも一つの音から出発して、また一つの音に戻れると、頭いい感じになるかも？

リズム楽器としての演奏

- ・ ギターは比較的やり安いが、鍵盤、サックスではどうなんだろう？
- ・ 基本、打楽器のように音階の無いものとして楽器を扱ってみる
- ・ ビートとしては、ラテン、インド、和物、などネイティブ系のものがおもしろいか？
- ・ もちろん、完全に音階なしは難しいので、フレーズ、音階はあって良いが、出来るだけリズム楽器
っぽく演奏する。

和音階のみでのインプロビゼーション

- ・ “かごめかごめ”的な、元もとコードの概念がないような和音階の曲。この感じでインプロビゼーシ
ョンは、可能だろうか？

・もちろん、ピアノもコードは弾かず、和音階のフレーズ×3人で、勝手に演奏して曲になるのか？

・和音階のモードだと解釈して、和音を積極的に使った用が良さそう

ハッシー中心で、好き勝手に展開
